

がれき処理で伊賀南部環境衛生組合

16日に5地区住民説明会

【伊賀】伊賀南部環境衛生組合は十六日午後二時～同四時まで、震災がれき処理に関する住民説明会を、伊賀市阿保の青山ホールで開くと九日、発表

「簡潔で分かりやすく」事務局長

対象は組合が管理する伊賀南部クリーンセンター周辺の同市奥鹿野▽福川▽伊勢路▽柏尾▽桐ヶ丘の地区住民。組合は地区外からの参加について、「座席に余裕があれば可能だが、伊賀地域外の方は遠慮いただきたい」としている。説明会は、組合管理者の亀井利克名張市長や副管理者の内保博仁伊賀市長のほか、環境省や県廃棄物対策室の担当者が出席し、震災がれきや広域処理の安全性について約一時間説明する。この後、質疑応答の時間を設ける。組合は一日、同市青山区の住民自治協議会代表者対象の説明会を開いたが、

参加者からは震災がれきの受け入れに反対する意見が相次いだほか、説明会の進行に関する指摘もあった。

組合の田中実事務局長は、「一日の説明会は内容が難しく、回答も不十分だった。十六日は簡潔で分かりやすく説明し、住民の理解を得たい」と話している。
(海住真之)